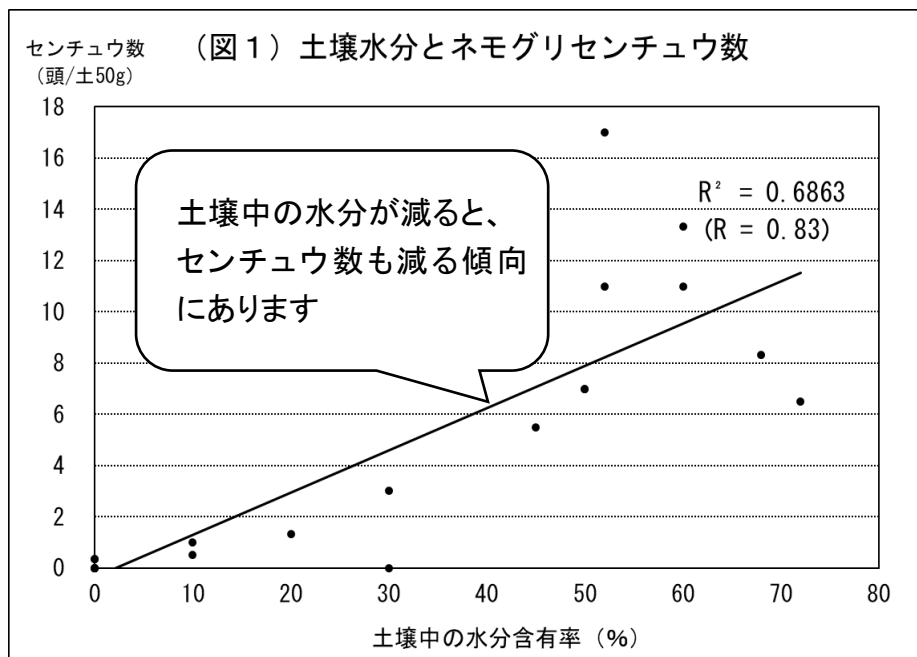


レンコン黒皮症の対策について

レンコン黒皮症は1つの対策では防除が難しいため、複数の対策を組み合わせることで被害低減を効果的に取り組みましょう。

1 使用する用具や機械は洗浄し、乾燥させましょう！

- 黒皮症を引き起こすレンコンネモグリセンチュウ(以下、ネモグリセンチュウ)は、乾燥に弱いのが特徴です(図1)。使用した用具や機械は、水洗いで泥を落とし、乾燥させましょう。



湿度 85%以下の乾燥条件でネモグリセンチュウが24時間以内に全個体が死亡した報告もあります(H26 茨城県園芸研究所試験成績書より)



2 使用する用具を分けることも有効です！

- ほ場での発生の有無で使用する用具を分けることで、ネモグリセンチュウの汚染拡大リスクを下げることができます。

3 雑草にもご注意ください！

- イネ科雑草やミズアオイ等でネモグリセンチュウの寄生が確認されています(表1)。伝染源とならないよう、れんこん田周辺の雑草防除に努めましょう。

(表1)ネモグリセンチュウの寄生が確認されている雑草

科	雑草名	生育期間	繁殖	一年・多年
イネ科	タイヌビエ	4~11月	種子	一年草
	ケイヌビエ	5~10月	種子	一年草
	アゼガヤ	5~11月	種子	一年草
ミズアオイ科	ミズアオイ	4~11月	種子	一年草
オオバコ科	ミズハコベ	通年	茎、種子	多年草

特にイヌビエ類は、根で卵も確認されています。必ず抜きましょう！

ウキクサ類、オモダカ、セリでは、今のところ、寄生は確認されていません

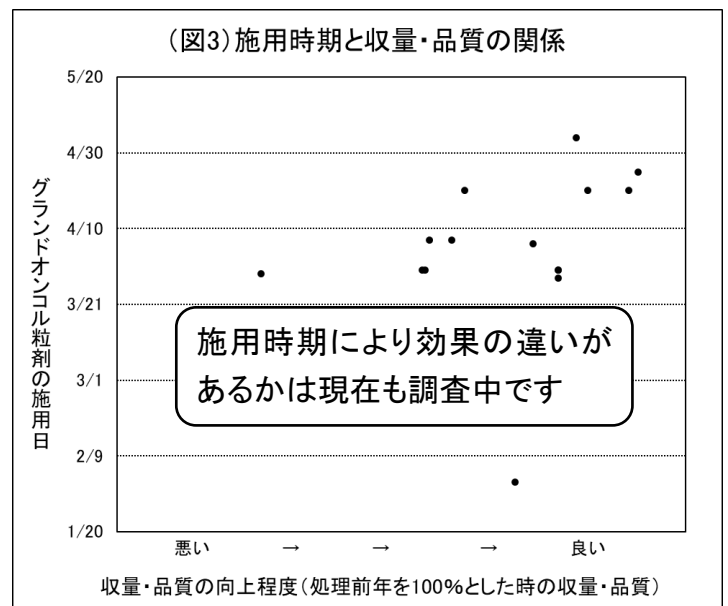
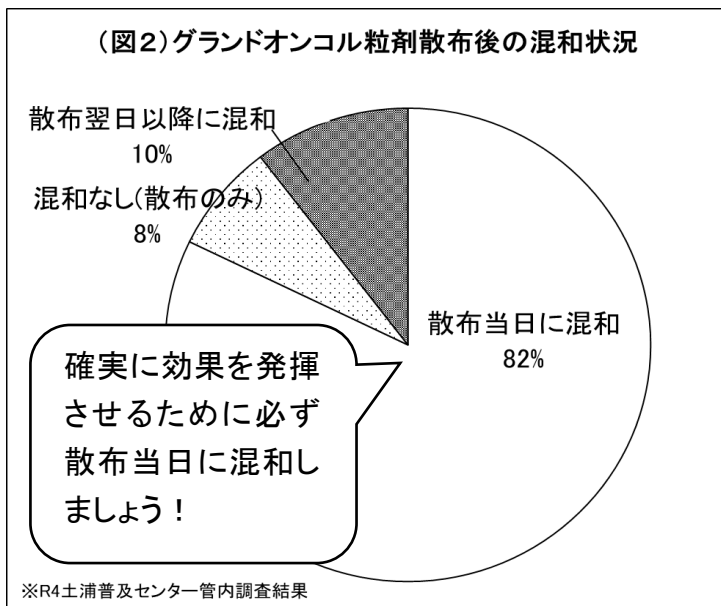
4 種バスによるセンチュウの持ち込みを防ぐことが重要です！

- まず、種バスの掘り取り時に黒皮症が見られないか確認しましょう。
- 根にセンチュウの寄生が疑われる場合には、根部のセンチュウ検査を行いましょう。検査は普及センターや民間検査機関でできるので、問い合わせてみましょう。

5 グランドオンコル粒剤を適正に活用しましょう！

- グランドオンコル粒剤は、薬剤の効果を十分に発揮させるために、必ず散布当日にしっかり混和しましょう。(図2)

〔施用日を遅めにした方が、れんこんの収量や品質が改善する傾向が見られた事例もあります(図3)。断定的ではないため、関係性について現在調査中です。〕

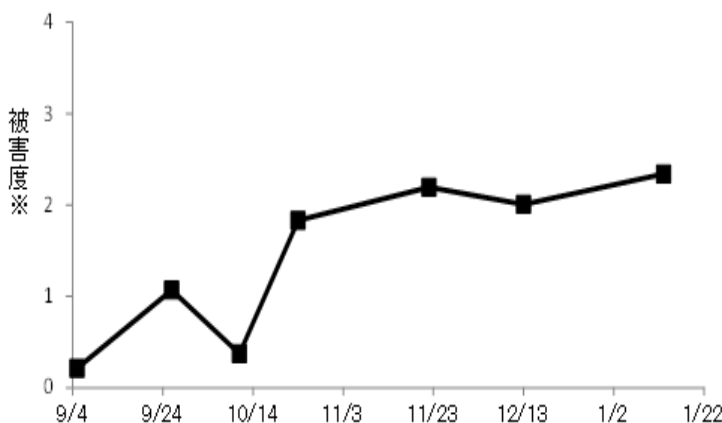


- ネモグリセンチュウに効果のある薬剤ですが、本剤のみで防ぐことはできません。グランドオンコル粒剤のみではなく、他の対策と組み合わせましょう。

※ 農業に関する内容は R5.9/6 時点のものです。農業を使用する方は、必ず、使用前にラベルを確認し、適正に使用してください。

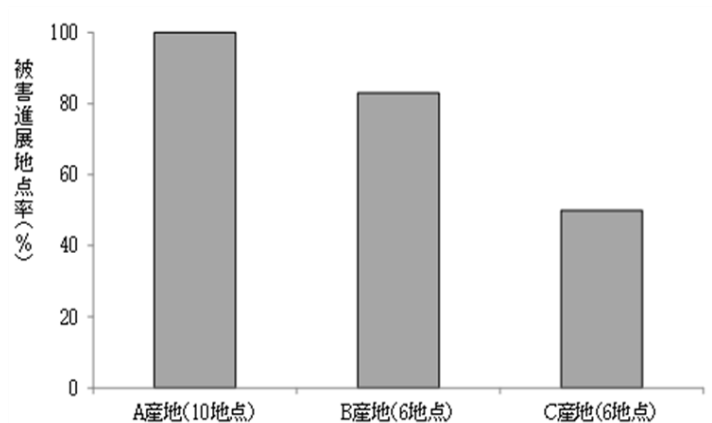
6 早掘りも有効です！

- 黒皮症は収穫時期が遅くなるほど、被害度が高くなる傾向にあります(図4)。
- れんこんの肥大後期～肥大終了期に早掘りすると、被害を低く抑えられます(図5)。



(図4) 現地ほ場におけるレンコン被害度の変化

※被害度は被害程度を0~4に分類し、節ごとに評価して平均値を算出



(図5) 9月より11月に黒皮症被害が進んだ割合